

有立

労動運動の彈圧をやめよう

自民政府の「有事立法」体制確立のたぐひは、田じに総評や社方」を求めて闘かっている労働者」といい、「有事立法」はとくに許すことのできないものだ、といふことがござりしてきたが、その正体もまたさわれてはいるが、労働者にとって重いことは、そのねらいの一つが労働運動の弾圧にあることだ。切実な思いで、「地下産業に働く者」をさわしく、せぬ人間らしい生き

正丸は、米騒動と二元の闘い

闘い、圧殺した大弾圧

久留米師団から三箇中隊出動

広がる米騒動

では労働運動として燃えあがった社会主義革命が成功しており、そのためわが國の働く者も人間としての自覚を高めたことが、まことにあります。

米騒動は、「米の安売り」を求める、大正七年七月富山県下の一漁の値段が、四ヶ月には三十三錢となり、八月には四十五錢から五十五錢と高騰。漁民の主婦たちの決起に觸発され、全国に広がった騒動で、三池前年——大正六年に、ロシヤで池鉱業所、社員に対して一八割の特別賞与を出す。ただし坑夫には、五分の手当だけだった。不満がまき起る。

同月二十四日 三焼レトルト工場の六十人余、三笠神社に集会。「賃金五割上げと被服排列の権利を認めさせられる」を相談。二十九日まで罷

業。夫金額の増給(一割)、年一回定期昇給を年四回にし、増給は十二月から実施すると協議。勝立坑で、一割増給発表の結果は「米騒動」のときの、未だ起つた三池の労働者の闘いと弾圧の歴史が教えてくれているといふ。

同月二十七日 富浦坑甲方棹取夫六十余人、「一人平均三十銭宛の賃金上昇」要求願書を会社宛に送達。会社は「形勢不穏」とすぐ大

業。「賃金西割増給」を会社に

請。会社の要所を固めるため、警官隊と在郷軍人を配備。

同月二十八日 富浦坑の乙方七十八人、同様要求書を会社に提出。

同月二十九日 富浦坑付近

帶が不穏で、暴徒襲撃とのうわ

さ広がり、大牟田市内動搖。若

津、瀬高からまで警官が応援

へ。

同月三十日 富浦坑付近

前日久留米憲兵隊から来奉る

べ。

同月三十一日 軍隊(すでに

以下、闘ひの歩み(もろん當

局の弾圧も)を通りて見よう。

八月二十日 (大正七年の) 三

池鉱業所、社員に対して一八

割の特別賞与を出す。ただし坑

夫には、五分の手当だけだっ

た。不満がまき起る。

鉱業所、久留米師団の派遣要

請。会社の要所を固めるため、

警官隊と在郷軍人を配備。

同月五月 未明、久留米師団か

ら一箇中隊が、午後七時

一箇中隊が出動・来山。

警官隊と在郷軍人を配備。

同月六日 鉱業所建築課の納

入料当支給する」(結果は一

この日電化の三百五十人罷

業。「賃金西割増給」を会社に

請。会社の要所を固めるため、

警官隊と在郷軍人を配備。

同月五日 未明、久留米師団か

ら一箇中隊が、午後七時

一箇中隊が出動・来山。

警官隊と在郷軍人を配備。

同月五月 未明、久留米師団か

ら一箇中隊が、午後七時

一箇中隊が出動・来山。